

きくちじょう
鞠智城ってな～に？

〈鞠智城にまつわる昔話〉



よなばらちようじや
米原長者の伝説

よなばらちようじや
昔、米原に米原長者という大金持ちが住んで
いました。何千頭もの牛や馬、何千人もの使用
人を使い、菊池から山鹿にかけて三千町歩の田
を作って、田植えを一日ですませることをたい
そう自慢にしていました。

とところが、ある年、半分も植え終わらないの
に太陽が西の山に沈もうとしていました。それ
を見た米原長者は、金の扇で招き返しながらか、「し
ずむな！もどれえ、もどれえ」と大声でさげび
ました。すると不思議にも、太陽はあともどり
をしたのです。それでも田植えは終わらず、太
陽は沈んでしまいました。どうしても一日で植

これが焼け米だ!!

焼けた倉跡からは今でもたくさんの焼け米が出てきます。

焼け米といえば・・・
昔の歴史の本の中に、
たしか倉が焼けたとい
うことが書いてあった
なあ。ひよっとすると
ここが鞠智城かもしれ
ないぞ!

焼
け
米
焼
け
米

ミ
ラ
メ
ス
タ
ー
タ
ー
焼
け
米



(肥後の国の菊池城の倉庫の戸がひとりりてになりました。)

「肥後国菊池城院の戸自ら鳴る」
ひのくにきくちしんごういん とをすか

——「日本三代実録」より——

(カラスの群れが菊池城の倉庫の屋根にひいてある草をかみぬきました。)

「カラスの群れが菊池郡倉倉の針草をかみ抜く」
きくちしんごういん
——「日本三代実録」より——

(菊池城の米倉十一棟が焼けました。)

昭和の初めころに、考古学の先生達が 学問的に鞠智城を調べ始めました。

昔話に出てくるだけでなく、昔から伝わる古い歴史の本の中に、鞠智城のことを書いてある記事が見つかっています。

最初は鞠智の文字が使われていますが、後に菊池にかわっています。

「大宰府をして、大野・基肆・鞠智の三城を繕ひ治めしむ」

——「続日本記」より——

（大宰府の命令で、大野・基肆・鞠智の三つの城を修理しました。）

「菊池城院の兵庫の鼓自ら鳴る」又鳴る」

——「日本文徳天皇実録」より——

（菊池城の倉庫の太鼓がひとりになりました。）

「肥後国菊池城院の兵庫の鼓自ら鳴る」

——「日本文徳天皇実録」より——

「菊池城の不動倉十一字火く」

——「日本文徳天皇実録」より——



古
い
本
に
あ
る
記
事

大発見!!

いろいろな証拠
発掘調査と研
次々とすばら

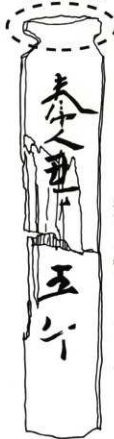
八角形の建物跡



▲想像図

木簡

うすい木の板に墨で文字を書いたものが見つかりました。



米俵などにくくりつけられるように刻み目が入っています。

表面には「秦人忍□五斗」と書いてあります。「秦人の忍」という人が米五斗(米俵)を税金として納めたことがわかります。

▲鞠智城跡からは、日本の古代山城では初めての八角形建物跡が発見されました。韓国の二聖(イソン)山城でも見つかり、両国の文化交流を考える上でも貴重な遺構です。

貯水池跡

飲み水の他、色々な用途に使われたダムのようなものです。



をもとにたくさんの人達が
究を続けてきた結果、
しいものが発見されました。



実寸大

たてものあと
建物跡 (現在までに66棟の建物跡が見つかっています。)

柱があったところに、28人が立っています。
建物の大きさが良くわかると思います。



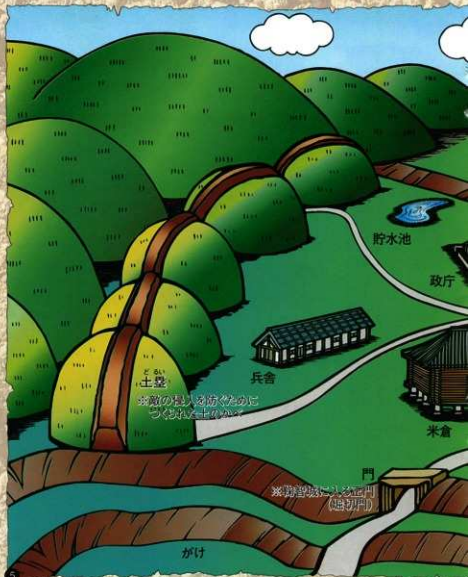
56号礎石建物跡(米倉)

かわらのきまるがわら
瓦(軒丸瓦)

右の写真の瓦は屋根の軒先をかざるもので、この瓦は今から約1,300年前に作られた、熊本県で最も古い時代のものです。



1300年前の鞠智城の姿って



こんなだった？

現代から古代へ
タイムスリップ!!



八角形建物(鼓楼)

※時をつげたり、
運送用の太鼓を置いた建物

鞠智城は何のために



つくられたの？

日本・百済の連合軍 VS 唐・新羅の連合軍

今からおよそ1300年前、中国には唐たうという国が、朝鮮半島には北に高句麗こうくわ、南西に百済くわい、南東に新羅しんらという3つの国があり、唐が、朝鮮半島に進出する機会をねらっていました。

660年、唐と新羅は連合して百済を滅ぼしてしまったので、日本は百済を復活させるために、大軍を朝鮮半島に送り込み、唐と新羅の連合軍と戦いをくりひろげました。

663年、白村江はくむらたにで、大きな戦いをしましたが敗けてしまい、日本軍は百済の人達と共に、日本に逃げ帰りました。

日本を守るための山城(基地)造り

白村江の戦いに敗れてしまった結果、逆に日本が唐・新羅の連合軍に攻められるおそれが出てきたために、山城(基地)をつくって日本を守ろうとしました。

そこで大和朝廷は、大宰府を守るため、百済の人達の指導のもとに大野城おのの(福岡県)、基肄城きいじ(佐賀県)、金田城かねだ(長崎県対馬)をつくりました。

鞠智城は、これらの山城に、食糧、武器、防人へいし(兵士)などを補給するための支援基地として、つくられたと考えられています。

さいわい、戦争はおこらず、鞠智城は政庁(役所)に変化して、南九州一帯を支配する拠点となったようです。



鞠習城は、将来こんな形



建物明示を兼ねた休憩所イメージ図



建物跡復原施設イメージ図

発掘調査された米原地区（平成9年7月現在）



に整備されて行きます。



建物跡明示施設イメージ図



城門遺構復原施設イメージ図



メモ

A series of horizontal dashed lines for writing, starting from the top of the page and extending to the bottom.



メモ

鞠智城へ 行ってみよう!



- 熊本空港より車で 約40分
- 熊本県庁より車で 約60分
- 植木インターより車で 約20分
- 菊水インターより車で 約45分



また来てね



鞠智城温故創生之碑

平成8年に鞠智城のシンボルとして建てられました。

中央に防人、その前に防人の妻と子、西側には鞠智城築城の指導をした百済の王族、東側には八方ヶ岳に祈りをささげる巫女、北側には一對の鳳凰が、また万葉集から3首の防人の歌と、周囲に鞠智城の歴史を解説した6枚のレリーフで構成されています。

熊本県教育庁文化課

鞠智城跡調査事務所

〒861-04 熊本県鹿本郡菊鹿町大字米原字長者原

TEL 0968-48-3178 FAX 0968-48-3697



えてしまいたい米原長者は、日の岡山に三千樽の油をまき、火をつけ、その灯りで田植えを終えることができませんでした。

しかし、太陽を呼び返した天罰が下り、その夜、火の玉が出て、米原長者の屋敷も倉も、全てのものが焼きつくされてしまったのです。

その時から、日の岡山は焼けこげ、草も木も生えなくなり、長者の倉跡からは今でも焼けこげたお米がでてくるそうです。

道徳教育用郷土資料
「くまものこころ」低学年用
熊本県教育委員会 参照

昔話に出てくる焼け米以外にも米原からは、土の中からいろんなものが見つかっています。

09教委教文

④001

この電子書籍は、鞠智城ってな～に？ を底本として作成しました。閲覧を目的としていますので、正確な図版は発掘調査報告等、他の書籍から引用してください。

鞠智城跡の発掘調査報告は、熊本県内の市町村教育委員会と図書館、都道府県の教育委員会と図書館、考古学を教える大学、国立国会図書館などにあります。所蔵状況や利用方法は、直接、各施設にお問い合わせください。

書名：鞠智城ってな～に？

鞠智城にまつわる昔話

発行：熊本県教育委員会

〒862-8609 熊本市中央区水前寺6丁目18番1号

電話：096-383-1111

URL：<http://www.pref.kumamoto.jp/>

電子書籍制作日：西暦2024年8月29日